



モデル実施学区のポスター ア・ラ・カルト

名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業

「福祉施設の支援から
地域の支えあい活動へ」

東区 山吹学区

「孤立死を防ぐ、住民による
見守り活動の広がり」



山吹学区では、学区内にある知的障害者授産施設「山吹ワーキングセンター」が実施する配食サービスに地域住民が積極的に配食ボランティアとして参加して、高齢者宅等にお弁当を届けるとともに安置確認等を行っています。「一日時間」という自分の余暇に合わせて気軽に使えることがポイントです。地域住民が配食することで地域の情報を伝えたり、困りごとを把握する機会となっています。

南区 明治学区 「見守り活動から たすけあい活動へ」



明治学区では「おたがいさま」の気持ちのもと、以前から続いているひとり暮らし高齢者等の見守り活動を基盤として、民生委員や町内会長、情報を持つ近隣住民などとのたすけあい活動により病院の付き添いや廃品回収、役所の手続きなどの困りごとの解決にあたっています。

現在はたすけあい活動をモデル町内で取り組み始め、まずは様々な場でボランティア募集と困りごとの収集のPRを行っています。

各学区において本事業をきっかけに地域の特徴や課題、そしてこれまでの取り組みを活かしながら、新たな取り組みや既存の活動の拡充を行っています。

また本事業を通じて多くの団塊の世代等がボランティアとして活動に参加するなど新たな担い手の活躍の場が広がっています。

東区 明倫学区

「孤立死を防ぐ、住民による
見守り活動の広がり」

明倫学区では、孤立死ゼロ・モデル事業の指定を受け、ふれあいネットワーク活動を強化しています。これまでに築いてきた「困りごと」や地域の課題を共有し解決に向けて話し合つ場や仕組みを活かし、民生委員のほか町内会長や近隣住民と協力・連携をしながら見守り活動を広げています。また気軽に参加できるボランティア活動を紹介し、多くの方に参加を呼びかけています。



南区 道徳学区 「町内会での支えあいシステムを 基盤にした個別支援」

道徳学区では買い物の付き添い、入院中の方の散歩等の地域の困りごとを町内単位で収集し、各町内とも地域住民のボランティア（各町内とも町内会長を中心）に登録）が解決にあたっています。

困りごとは地域福祉活動推進員（以下、「推進員」）に集約され、町内で解決できない困りごとは推進員が情報提供し、推進員でも解決できない場合は社会福祉協議会を通じて関係機関につないでいます。



明治学区では「おたがいさま」の気持ちのもと、以前から続いているひとり暮らし高齢者等の見守り活動を基盤として、民生委員や町内会長、情報を持つ近隣住民などとのたすけあい活動により病院の付き添いや廃品回収、役所の手続きなどの困りごとの解決にあたっています。

現在はたすけあい活動をモデル町内で取り組み始め、まずは様々な場でボランティア募集と困りごとの収集のPRを行っています。

天白区 表山学区 「学区における支えあい活動の実践 ～お助けマン制度～」



表山学区は本事業をきっかけに「お助けマン制度」を立ち上げました。蛍光灯の取り替えや粗大ゴミの搬出、簡単な修繕、隣家に飛び出した枝切り等、高齢者や障がい者の方の「ちょっとしたことだけ自分でできない」困りごとを解決にあたっています。

住民の助けあい・支えあいで解決したいときはまずは電話でお問い合わせください。お助けマンをお願いしたい場合はお電話で推進員と相談ができるようになつており、地域住民のボランティア十八人が解決にあたっています。

本事業のお問い合わせ先
名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部
電話 〇五二一九一三二九三
ファックス 〇五二一九一七〇七〇一

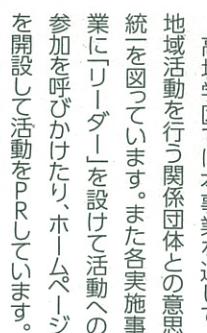
港区 大手学区

「ちょっとした困りごとの解決と
居場所づくり」

大手学区の「銀杏の会」では電球の取り替えなど、ちょっとした困りごとの相談に対し、学区在住のボランティアであるメンバーが解決にあたっています。また新たに高齢者の方が集まる機会として編み物や書写をする会をつくり、「自宅の空きスペースを活用したい」という声を受けて、個人宅での「たまり場」ひだまりの家の開設に協力するなど居場所づくりに取り組んでいます。



天白区 高坂学区 「学区のみんながつになつて 地域活動を活性化」

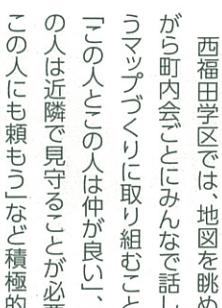


高坂学区では本事業を通じて、地域活動を行う関係団体との意統一を図っています。また各実施事業に「リーダー」を設けて活動への参加を呼びかけたり、ホームページを開設して活動をPRしています。その結果、街路清掃を行うボランティアグループが立ち上がり、既存グループと協力しながら活動したり、「震災を知り、隣近所で助け合う」をテーマに防災講演会の開催や防災ずきんづくりに取り組んでいます。

港区 西福田学区

「マップづくりを通じた要援護者の発見と地域の支えあい活動」

西福田学区では、地図を眺めながら町内会ごとにみんなで話し合うマップづくりに取り組むことで「この人との人は仲が良い」「この人は近隣で見守ることが必要」の意見が出たり、今までわからなかつた地域の状況が見えできました。また「家の近くで集まる場所はないのか」という住民の相談をきっかけに、週に一度「たまり場」福前憩いの会を開催しています。



シルバーパワーを活用した地域力再生事業（以下、「本事業」）では、現在、名古屋市内の八学区において個人のちょっとした困りごとに対し、地域の支えあいにより解決を目指す「個別支援事業」に取り組んでいます。今回は各学区で困りごとを把握したり、ボランティアを募集するために作成した色鮮やかなPRポスターとともに学区の特徴を活かした取り組みをご紹介します。



ほっとはあとコーナーは、ボランティア情報「ほっとはあと」を継承しボランティアに関するホットなニュースを